

テーマ：アイヌの人たちの歴史・文化等（実践校）

## 渡島管内 木古内町立木古内中学校

### ■本実践のポイント（概要）

- ・ふるさとに対する愛着や誇りを育むため、北海道アイヌ教育相談員及び木古内町郷土資料館の学芸員を外部講師として招聘し、講話や、アイヌの人たちの楽器演奏等の体験的な活動、施設見学を通して、アイヌの人たちの歴史や文化等について探究的に学習しました。

### ■ふるさと教育・観光教育の実践内容

#### ①取組の様子

##### (1) 課題の設定

「北海道ふるさと教育指導プログラム」を活用するとともに、外部講師の講話や説明を通して、アイヌの人々たちの言葉や生活習慣等に関する興味・関心を喚起し、「木古内町に関わりのあるアイヌの人たちの歴史や文化、暮らしについて調べ発表しよう」という探究的な課題を設定しました。

##### (2) 情報の収集

北海道アイヌ教育相談員及び木古内町郷土資料館の学芸員による講話や説明を通して、アイヌの人たちの歴史や文化、言葉、生活習慣などについて、情報を収集しました。

また、アイヌの人たちの楽器の演奏体験や施設見学を通して、新たに疑問に思ったことなどについて、資料やインターネットを活用して調べました。

##### (3) 整理・分析

収集した情報や資料を基に、自分たちとアイヌの人たちの言葉や生活習慣等を比較することなどを通して、木古内町とアイヌの人たちの歴史や文化等の関わりについて学びました。

##### (4) まとめ・表現

個人やグループで探究した内容を、プレゼンテーションソフトを活用してまとめ、発表し合うことを通して、アイヌの人たち歴史や文化等について理解を深めました。

#### ②生徒の感想等

- ・北海道の地名のほとんどがアイヌ語に由来することを知り驚いた。
- ・アイヌの人たちの歴史や文化等を受け継いでいくために、もっとアイヌの人たちのことを学びたいと思いました。



【アイヌ教育相談員の講話の様子】



【郷土資料館見学の様子】



【楽器演奏体験の様子】

### ■取組の成果（○）と課題（●）

- 「北海道ふるさと教育指導プログラム」を活用し、アイヌの人たちの歴史や文化等について学ぶ学習を行ったことにより、生徒アンケートで、「アイヌの人たちの歴史や文化についてもっと調べたいと思った」と回答した生徒の割合が75%から85%に、「今、住んでいる地域の歴史や自然について関心がある」と回答した生徒の割合が60%から80%に増加するなど、自分たちが住んでいる地域や文化等に対する興味・関心が高まるとともに、郷土に対する愛着や誇りを育むことができました。
- アイヌ古式舞踊等の体験的な活動を取り入れたり、アイヌの人たちと自分たちが住む町の歴史や文化等を比較しながらさらに深く調査したりするなど、探究的な学習をより一層充実させるとともに、学習の成果を地域や保護者に発信する活動を行っていく必要があります。